

2021 年合格目標

TAC 行政書士講座・オンラインセミナー

2021 年度 行政書士試験に
「一発合格」するための
3つのポイント

担当・小池昌三講師
2020 年 9 月 25 日（金）

1. 行政書士試験とは？試験の概要

(1) 行政書士とは

1. 独立開業ができる！
2. 町の法律家（法律相談・法律コンサルタント）
3. 法律文書作成・事務処理のエキスパート（許認可申請・契約書作成）
4. 法律系国家資格（宅建・社労士・司法書士・司法試験等）の登竜門⇒ダブルライセンス・トリプルライセンス取得へ

(2) 試験要項

受験資格：年齢、学歴、国籍等に関係なく、誰でも受験できます。

試験日：試験は全国 47 都道府県で年 1 回実施。

例年 11 月第 2 日曜日（2021 年は 11 月 14 日予定）

試験時間：午後 1 時～ 4 時（3 時間）

(3) 試験概要

行政書士試験結果の推移

年度	受験者数	合格者数	合格率
平成27年度	44,366名	5,820名	13.1%
平成28年度	41,053名	4,084名	10.0%
平成29年度	40,449名	6,360名	15.7%
平成30年度	39,105名	4,968名	12.7%
令和元年度	39,821名	4,571名	11.5%

令和元年度

申込者：最年長 95歳（1名） 最年少 12歳（2名）

合格者：最年長 79歳（1名） 最年少 15歳（1名）

(4) 出題形式

① 5肢択一式（60問中54問　－　1問4点）

ex. 次のうち正しいものはどれか。

- $$\begin{array}{lcl} 1 & \sim & \\ 2 & \sim & \\ 3 & \sim & \\ 4 & \sim & \\ 5 & \sim & \end{array}$$

② 多肢選択式（60 問中 3 問　－　1 問 8 点・部分点あり）

ex. ア～エに当てはまる語句を、枠内の選択肢(1～20)から選びなさい。

～～ ア ～～～～～～ イ ～～～ ウ ～～ エ ～～～～～～

1	2	$\sim$	2 0
---	---	--------	-----

③ 記述式（60 問中 3 問 ー 1 問 20 点・部分点あり）

ex. ～について、40 字程度で記述しなさい。

[illegible]

(5) 試験科目・出題形式・出題数・得点戦略

合格基準 ⇒ 300満点中180点（6割）で合格！！

① 法令科目（出題数 46 題－244 点/300 点）

〔法令科目の出題形式・出題数・得点戦略〕

科目	択一	多肢	記述	配点	学習量	難易度
×基礎法学	2			8点	多	難
○憲法	5	1		28点	少	易
◎行政法	19	1	1	112点	多	普
◎民法	9		2	76点	多	難
△商法	5			20点	多	普

② 一般知識等（出題数 14 題－56 点/300 点）

〔一般知識の出題形式・出題数・得点戦略〕

科目	択一	多肢	記述	配点	学習量	難易度
×社会系	7			28点	多	難
○情報系	4			16点	少	普
◎文章理解	3			12点	少	易

学習の中心に据えるべき科目の選択

- ① 配点が高い科目を得点源にする必要があります。
→ 行政法、民法
- ② 学習分量が少なければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法、情報系・文章理解
- ③ 難易度が易しければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法・文章理解

2. 一発合格するための「3つのポイント」

① 時間

(1) 時間は有限（徹底的に時間の無駄を減らすこと）

日付	残り週数
10月4日（日）	58週
11月1日（日）	54週
12月6日（日）	49週
1月3日（日）	45週
2月7日（日）	40週
3月7日（日）	36週
4月4日（日）	32週
5月2日（日）	28週
6月6日（日）	23週
7月4日（日）	19週
8月1日（日）	15週
9月5日（日）	10週
10月3日（日）	6週
11月7日（日）	1週
11月14日（日）	本試験日

(2) 行政書士試験合格に必要な時間

600 時間～1000 時間

(3) この時間をどう使うか 戦略的タイムマネジメント

① まずは残り時間を算出してください。

- ・ 1 週間で勉強に割くことができる時間は、週_____時間。
- ・ 残り_____週 × 週_____時間 = 本試験までに残された時間

② 多く出題される部分に多くの時間を割くのが効率的です。

〔法令科目の残り時間〕

科目	全時間	得点割合	科目の残り時間
法令科目全体	時間	×81.3%	= 時間
×基礎法学	時間	×2.7%	= 時間
○憲法	時間	×9.3%	= 時間
◎行政法	時間	×37.3%	= 時間
◎民法	時間	×25.3%	= 時間
△商法	時間	×6.7%	= 時間

〔一般知識の残り時間〕

科目	全時間	得点割合	科目の残り時間
一般知識科目全体	時間	×18.6%	= 時間
×社会系	時間	×9.3%	= 時間
○情報系	時間	×5.3%	= 時間
◎文章理解	時間	×4.0%	= 時間

②

問題演習

(1) 問題演習の重要性

合格できなかった人に足りないものは問題演習です。

アウトプットは時間がかかりますので、問題をたくさん解くためには、インプットに割く時間を極力減らす必要があります。

(2) 過去問の重要性

アウトプット教材で基本となるのが、過去問です。これが、行政書士試験における、基本知識となります。まずは、徹底的な過去問マスターです。

(3) 予備校問題の有効活用

過去問だけでは不十分です（本試験の 5 割の正解）。そこで、プラス α として、予備校の作成した問題を活用して知識を補充します。

(4) 効果的な問題演習法

① 曖昧な知識をどれだけ増やしても本試験では使えない。

本試験では、各選択肢の正確な正誤判断が求められますので、曖昧な知識では正誤判断ができません。なんとなく「○」にしたり「×」にしたり。結局、各選択肢を正誤判断できる確率は半々です。この確率はあてずっぽうで解くのと同じです。

必要なのは、選択肢を見て、100 パーセント自信をもって「正しい!」「誤り!」と判断できる知識です。このような知識が、本試験でも使える正確な知識ということになります。

② 正誤判断を正確にできる知識を獲得するための問題演習法

問題を解いてみて、正誤判断の根拠となる条文や判例を説明できる肢には○や×をつけますが、正誤判断できなかった肢、正誤判断に時間がかかった肢には△をつけます。

問題には正解したとしても、△の選択肢は知識が曖昧ですから、その肢に関わる条文知識、判例知識は一つ一つ丁寧に確認して、記憶します。それを何度も繰り返し行うことで、△の数は減り、すべての肢を正確に「○」「×」と判断できる知識、本試験でも使える知識が増えていくわけです。

③ T A C

行政書士試験に必要な学習部分の取捨選択と、インプットの効率化による時間の節約がTAC利用の最大のメリット

(1) 学習範囲の選択

膨大な法律分野を、行政書士試験合格に特化して、効率的に一発合格をするためには、行政書士試験合格に必要な知識のみを取捨選択し、そこを集中的に学習することが必要です。

しかし、限られた時間の中で、この取捨選択を行うことは容易ではありません。また、行政書士試験に必要な基本的知識かどうかを判断するために、細かい法律知識を学習しなければならないとすれば、それは本末転倒です。さらに、細かな知識を、すべて押さえようとすることは、合格に必要とされる基本的知識を曖昧にしてしまいます。

そこで、行政書士試験に必要な知識を取捨選択してお伝えするTACの教材と講義によって、短時間で行政書士試験に必要最小限のことを押さえることが可能となります。

(2) インプットの効率化

行政書士試験合格には問題演習が必須となりアウトプットに多くの時間を割く必要があります。そのため、インプットに多くの時間を割くわけにはいきません。短時間でインプットを行う必要があります。しかし、独学の場合には、ただでさえ難解な法律用語や法律文書を学習するのは非常に骨の折れる作業になります。

そこで、TACの実力派講師が、難しい法律を分かりやすく講義していますので、それを聴いていただくことにより、インプット時間を極限まで抑えることができます。



TACを利用することが

あなたの一発合格の実現を飛躍的に高めます。

3. TACで学習するメリット

(1) 学習ニーズに合わせた受講コース選択

→今から学習を始める初学者の方は

[2021 年合格目標 プレミアム本科生 Plus](#) がオススメ

(2) 受講メディアの豊富さ

(3) 経験豊富な講師陣

(4) キャンペーン割引

→2021 年合格目標 プレミアム本科生 Plus／プレミアム本科生

早割キャンペーン第1弾 2020 年 8/3(月)～11/4(水)まで

※詳細は [TAC ホームページ](#)にてご確認ください。